

ネット広がるMITEOS

プラネットが2013年2月にスタートさせた「MITEOS」(ミテオス)の取引状況や社内システムなどの制約から、EDI(受発注、出荷や仕入計上業務に伴うデータ交換サービス)の導入が難しかったメーカーに簡易的なEDIの機能を提供し、卸売業との双方のデータ交換を実現させることで、業界全体の業務負荷の軽減につなげるという新たなサービス展開だ。

を越えている。そのEDIサービスでこれまで培ってきた機能性をより手軽に享受できるのが「ミテオス」だ。ミテオスの利点は「スピーディ」、「シンプル」、「セーフティ」という3つのキーワードにまとめられる。まず、ミテオス

タを取り込めば、受注内容を手入力する手間が省ける。また、出荷確定した後、売掛情報をデータ送信できるの、これまでの仕入伝票の発送が不要となり、伝票の仕分け作業の手間や切手代などのコストを大幅に削減できる。

「MITEOS」(ミテオス)の取引状況や社内システムなどの制約から、EDI(受発注、出荷や仕入計上業務に伴うデータ交換サービス)の導入が難しかったメーカーに簡易的なEDIの機能を提供し、卸売業との双方のデータ交換を実現させることで、業界全体の業務負荷の軽減につなげるという新たなサービス展開だ。

「MITEOS」(ミテオス)の取引状況や社内システムなどの制約から、EDI(受発注、出荷や仕入計上業務に伴うデータ交換サービス)の導入が難しかったメーカーに簡易的なEDIの機能を提供し、卸売業との双方のデータ交換を実現させることで、業界全体の業務負荷の軽減につなげるという新たなサービス展開だ。

「MITEOS」(ミテオス)の取引状況や社内システムなどの制約から、EDI(受発注、出荷や仕入計上業務に伴うデータ交換サービス)の導入が難しかったメーカーに簡易的なEDIの機能を提供し、卸売業との双方のデータ交換を実現させることで、業界全体の業務負荷の軽減につなげるという新たなサービス展開だ。

200社活用目指す

簡易EDI機能が手軽に

年2月にスタートさせた「MITEOS」(ミテオス)の取引状況や社内システムなどの制約から、EDI(受発注、出荷や仕入計上業務に伴うデータ交換サービス)の導入が難しかったメーカーに簡易的なEDIの機能を提供し、卸売業との双方のデータ交換を実現させることで、業界全体の業務負荷の軽減につなげるという新たなサービス展開だ。

